

中央区立晴海西中学校年間シラバス

教 科	音 楽	学 年	1 年
-----	-----	-----	-----

【教科の目標】

- ・仲間と協力して表現をつくりあげる音楽活動の喜びを体験することを通して、音や音楽に対する興味・関心を高める。
- ・曲想や背景、楽曲構造を理解させ、創意工夫を生かした音楽表現をさせる。
- ・多様な時代や国の音楽の学習を通して、音楽が人々の生活や文化に果たす役割について考えを深めさせる。

【使用教材・副教材・使用教室・指導形態】

使用教材：音楽の教科書（教育出版）、コーラスフェスティバル（正進社）、ファイル  
 使用教室：第1音楽室、第2音楽室  
 指導形態：一斉指導、グループ活動

【評価の観点と方法】

	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・観察</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能を生かし、音楽表現を創意工夫している。</li> <li>・音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさについて説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・観察</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・協働的に音楽活動に取り組み、体験を通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていこうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

【授業の進め方と学習のポイント】

- 音楽を聴くときは、いつも「どのような特徴があったか」、「どのような感じがしたか」を意識して聴き、言葉にして表現してみましょう。
- 音楽を表現するときは、基本的な技能の習得だけでなく、「意思の強さを伝えるために、ここははっきりと発音して歌おう」というように、曲の思いや意図を表現するために創意工夫をしよう。
- 授業では皆さんの発言を取り入れながら進めます。是非積極的に挙手して発言しましょう。また、仲間の意見もメモし、表現の幅を広げましょう。
- 提出期限を守り、忘れ物がないよう持ち物を確認しましょう。

【家庭学習の進め方】

- 教科書やワークシートを見て、授業で学習した内容を復習しましょう。
- 実技は、基本的な歌唱方法や表現の工夫を意識して練習しましょう。音程や歌詞は覚えましょう。
- 課題は丁寧に取り組み、その時の発見・気づきを大切にしましょう。

【年間指導計画（音楽）】

	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4月	4	正しい発声を確認しよう。 ・音楽科のルール、合唱の基本、楽典の基礎 ・自分の声の音域決め ・「校歌」	・基礎の姿勢、表情、発声方法 ・全体のハーモニーづくり ・校歌の旋律、強弱、歌詞の意味について	・音楽の基礎知識を身につけて、多様な表現に生かす。 ・歌唱の正しい姿勢と発声方法を身につける。 ・声部の役割を理解させ、全体の響きを考えて表現させる。
5月	3	歌詞の内容を味わい、拍子や伴奏の形、構成などから曲想を感じ取ろう。 ・「浜辺の歌」	・歌詞の内容について ・拍子や速度、強弱変化について ・作曲背景について	・歌詞の内容を味わわせ、言葉のフレーズを生かして歌わせる。 ・曲想の雰囲気を感じ取らせ、歌詞の内容と結びつけて歌唱表現をさせる
6月	4	物語の進行と歌唱表現との関わりを感じ取って聴き、紹介文を書こう。 ・「魔王」	・曲の構成 ・登場人物による歌唱表現の変化 ・物語と伴奏の関わり	・声の音色や強弱の変化を知覚させ、それらが生み出す雰囲気を感じさせる。 ・物語の変化と曲想の変化との関わりを理解させる。
7月	1 8	学習発表会に向けて混声三部合唱を練習しよう。 ・合唱曲	・パート練習の仕方、リーダー決め ・各声部の役割の把握 ・全体のハーモニーづくり	・リーダーを軸としたパート練習の仕方を習得する。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を創意工夫する。 ・声部の役割を理解させ、全体の響きを考えて表現させる。
9月				
10月				
11月	2	独奏ヴァイオリン及び弦楽合奏による表現と、ソネットとの関わりを感じ取ろう。 ・「四季」より「春」	・拍子やリズムの捉え方 ・速度、強弱による曲想の変化	・各楽器の音色を知覚させる。 ・ソネットと旋律の特徴の関わりを理解させる。 ・曲の良さや美しさについて、自分なりに考えて言葉で表現させる。
12月	4	箏の基本的な奏法を身につけて、合わせて演奏しよう。 ・「さくらさくら」	・基本奏法（爪、姿勢とかまえ方、親指の使い方） ・基本知識（調弦法、楽器について、楽譜の読み方） ・歴史と奏法	・日本の伝統音楽に関心をもたせるとともに、日本音楽と西洋音楽の違いを理解させる。 ・箏の基本的な奏法を体験させる。 ・箏特有の音色や旋律を味わいながら鑑賞させる。
1月				
2月	2	日本の民謡の声の出し方や、歌い合わせ方などの特徴を理解して歌おう。 ・「ソーラン節」	・民謡の発声方法 ・囃子ことばについて ・民謡の種類やつくられた背景	・民謡の特有の発声方法を学ぶ。 ・民謡ができた背景を知り、日本の文化と音楽との関わりについて理解する。
3月	8	三送会・卒業式のうた	・各声部の役割 ・全体のハーモニーづくり ・パート練習の仕方 ・楽曲の基礎知識	・声部の役割を理解し、全体の響きを感じ取って歌うようにさせる。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、心を込めて歌うようにさせる。